

農業の話をしようよ！

JA前橋市のキャッチコピー
笑顔と信頼 広げよう「ありがとう」の気持ち

2025
10

あぐりーとーく



～食料の安定供給と地域農業の維持・発展のために～ 令和8年度農業振興対策等に関する要望書提出

《表紙紹介は2ページ》



▲イメージキャラクター
「じゃじゃゴン」

かなづき 神無月 / 国の神々が出雲大社に向いて不在になる月（神無月ともいう）
かみなしづき 花暦 / 竜胆…優美
りんどう 誕生石 / オパール…安楽・溫和・忍耐

ホームページをリニューアルしました！
ホームページアドレス
<http://www.jagunma.net/maebashi/>



J A前橋市公式Instagramを始めました！
イベントの告知など様々な情報をお届けします😊



産直ゆうあい館Instagram更新中！
フォローやいいねをお願いします😊





令和8年度農業振興対策等に関する要望書を前橋市へ提出

J A 前橋市は8月29日、前橋市役所で令和8年度農業振興対策等に関する要望書を小川晶市長へ提出しました。



▶小川市長⑥へ要望書を提出する
矢端組合長④

農業振興対策等に関する要望書提出の背景として、飼料・肥料等生産資材価格の高止まりによる生産コストが増加する一方、農畜産物の販売価格には転嫁しづらい状況であることや、多発する自然災害、猛暑、豚熱等の家畜伝染病の影響により、農家経営は依然厳しく、経営の継続すら危ぶまれている実情があります。



▶管内農畜産業の実情を訴える
矢端組合長

世界的な気候変動に加え、為替変動により、飼料等の原料確保も不安定に推移することが懸念されています。そのため、将来を見据えた食料安全保障強化のために国内農畜産業の維持が不可欠となり、将来にわた

る食料の安定供給と地域農業の維持・発展に向けた支援を強く要望しました。

なお、要望内容は以下のとおり。

- ① 共同乾燥施設・出荷施設等の維持・修繕並びに再編整備事業に係る費用補助
- ② 家畜伝染病対策支援
- ③ 酪農関係補助金の支援拡充・追加について
- ④ 高温対策支援
- ⑤ 農道の舗装整備促進
- ⑥ 担い手支援事業の充実
- ⑦ 農業生産費高騰対策支援
- ⑧ 耕作放棄地対策
- ⑨ ふれあい広場の売買や管理にかかる経費への配慮

矢端幹男代表理事組合長は「自然災害等への緊急的な支援策を実施していただき感謝。今後も行政とJ A が一体となり農家経営改善に向けて様々な支援策に取り組んでいくため、引き続き十分な予算の確保に配慮していただければありがたい」と訴え、前橋市への要望としました。

また同日、富田公隆市議会議員長の元へ訪問し、要望書を提出するとともに要望内容について意見を交わしました。

J A は、今後も組合員の皆様の負託に応えるべく、行政機関に対し理解と協力を求めて参ります。



▶要望書の内容について意見を交わしました



▶富田市議会議員長へ要望書を提出



JA前橋市園芸協議会 実需者交流会

JA前橋市とJA前橋市園芸協議会は8月26日、JA本所でJA前橋市園芸協議会実需者交流会を開催しました。市農政部や青果・花卉市場の関係者、園芸協議会員など計60人が参加し、圃場視察や情報交換会を通じて生産者と実需者の関係性を深めました。



▲挨拶を行う関口会長

圃場視察では、JA職員案内のもと、中部営農センター管内のミツバとバラの圃場を視察。生産者が栽培方法や生産状況を詳しく説明し、市場関係者らは熱心に耳を傾けました。

交流会では、同協議会の関口栄信会長が「生産状況は困難を極める中ではあるが、生産者一丸となって安定生産に努めたい。更なる生産振興に向けた有意義な情報交換の場として」とあいさつ。続いて、JAの青果物販売に貢献した上位6社（R&Cなどの青果長野本社、ぐんま県

央青果株式会社、東京多摩青果株式会社、東京新宿ベジフル株式会社、前橋青果株式会社）へ感謝状を贈り、功績を讃えました。

また、令和7年度の販売目標額並びに産地情勢、今後の栽培管理及び猛暑対策について協議した他、物流・輸送業界の「2024年問題」に係る課題についても触れ、今後の課題解決に向けた具体的な方策を模索する場となりました。



▲意見交換を行う参加者

JAは今後も行政・関係機関と連携を図り、農畜産物の販売促進や販路の拡大など事業展開を取り組むとともに、市場や消費者に信頼される産地作りに努めて参ります。

ちやぐりんフェスタ 2025開催

JA前橋市は8月19日、JA本所で「JA前橋市ちやぐりんフェスタ2025」を開催しました。

「ちやぐりん」とは、Child（子ども）・Agriculture（農業・食料）・Green（自然）を組み合わせた造語。次世代を担う子どもたちの協力の心を育み、農業ならびにJAに対する理解を深めることを目的としました。



▲ちやぐりんフェスタで交流を深める参加者

当日は、管内の小学生および保護者17人が参加し、きゅうり・なす選果場の見学や地元産野菜を使った料理

教室、食農教育に関する〇×クイズなどを体験。さまざまなプログラムを通じて農業についての知識を深めました。



▲盛り上がりを見せた〇×クイズ

その他、保護者向けにJAで扱う各種ローンやがん共済などの商品説明についても触れ、地域の総合事業体としての役割についても周知する機会となりました。

イベント参加者には地元生産者が丹精込めて育てた梨やゴーヤ、トマトなどの新鮮野菜が記念品として手渡されました。

営農部営農企画課の深津耕一課長は「今後も子どもたちが楽しみながら農業や食の大切さを学ぶ場を企画し、将来にわたり地域農業へ関心を持つてもらえたら嬉しい」と話しました。

自己改革実践レポート

全体戦略『農業者の所得増大・生産拡大に向けた取り組み』

J A 前橋市は、毎月2回アグリサポートセンターにて新任営農指導員担当者研修会を開催しています。本研修会は、特に配属1～3年目の新任営農指導員を対象とし、農作物の生育に欠かせない「防除」と「施肥」について取り上げ、実践的な知識の習得を図っています。

研修では、日々の圃場巡回を行う際に必要となる、正確かつ最新の知識を学び、生産者からの多様な要望や課題に応えられる専門性の高い指導員を育成することで、農産物の品質向上と生産者の農業所得増大を目指しています。

9月5日に開催された研修会では、生産振興課の井上和稀主任が講師を務め、肥料の種類や分類、保証票の見方、肥料成分の計算方法などについて詳しく解説。また、成分がもたらす効果や、欠乏・過剰の原因とその後の対応についても分かりやすく解説し、参加者たちは、熱心に耳を傾けました。さらに、演習問題にも取り組むなど、理解を深めました。

営農部生産振興課の熊川和也課長は、「研修会での学びと現場での経験を積み重ね、生産者の方々に貢献できる指導員として活躍してもらいたい」と語りました。

J A 前橋市では、今後も定期的な研修会の開催を通じて、指導員の資質向上と地域農業の発展に努めるとともに、生産者が安心して農業に取り組める環境づくりを進めてまいります。



▲施肥についての知識を深める新任営農指導員



第48回前橋市梨(幸水)共進会 優等賞に下大島町の田代茂子さん

前橋市とJA前橋市、JA前橋市果樹部会は8月19日、JA前橋市の本所で第48回前橋市梨(幸水)共進会を開催しました。



▲出品された梨の糖度を計測する共進会関係者

共進会では、管内の梨生産者7人が1箱7個入りの梨(品種・幸水)を出品。県中部農業事務所担い手・園芸課職員とJA職員が、出品された梨を①品質(糖度・果肉)②外観(果皮色・損傷・病害虫)③形状(果形・玉揃い)を基準に厳正な審査を行った。その結果、下大島町の田代茂子さんの出品物が優等賞に輝きました。

審査員を代表し、中部農業事務所担い手・園芸課職員は「水が必要となる生育期に少雨という中、小玉傾向ではあるが品質の良い梨が出品された。生産者の日々の栽培努力の賜物」と講評しました。

また、勢多農林高校の生徒11人が共進会を見学し、参加した生徒は「良質の梨や審査の様子を間近で見ることができ、大変勉強となった」と話しました。

共進会は、梨の栽培技術や品質の向上を図るとともに、産地化および生産・消費拡大を推進し、梨栽培の振興と発展を目的として例年行われています。

【共進会入賞者】 ※敬称略

優等賞 田代茂子(下大島町)
一等賞 吉田浩美(下大屋町)
二等賞 久保田宜行(新堀町)



▶優等賞に輝いた田代さんの梨

伊勢神宮 式年遷宮の御料生糸生産

伊勢神宮では20年に一度、式年遷宮が行われ、社殿とともに御装束神宝も古式のまま新しくつくり替えられます。令和15年には、次回63回目の遷宮が予定されており、1300年以上も続く祭祀です。

古代より養蚕が盛んとされ、近代の富岡製糸場操業に象徴される蚕繭の歴史をもつ群馬県は、次期式年遷宮の御装束神宝材料「生糸」の主たる蚕繭生産地及び繰糸施工地として選定されています。そして大日本蚕糸会(蚕糸科学技術研究所)からその原料繭小石丸の生産を委託されたのが苗ヶ島町の前原さんです。

前原さんは、平成30年の春蚕から小石丸の飼育を始め今年で8年目を迎え、これまでに約1,000kgの御料繭を奉納しています。式年遷宮に使用する御料繭小石丸は、宮内庁紅葉山御養蚕所でも、皇后さまが飼育されている日本古来の品種で、飼育に手間がかかり、繭は小さめですが、光沢ある佳良な生糸に仕上がります。

6月11日、御料繭小石丸の出荷が、アグリサポートセンターの郷蔵で、矢端組合長、湯澤勝博農産販売課長ほか、群馬県庁や碓氷製糸関係職員

の応援のもとに行われました。

前原さんは繭の作柄や今後について「桑の生育もよく、天候にも恵まれ近年になく良い仕上がりになった。今後とも契約に基づき、本殿、御装束神宝の奉納に役立つよう良い繭を生産したい」と話しました。

なお、繰糸施工地「御料生糸生産」に選定されたのが安中市松井田町の碓氷製糸(株)です。7月18日には、碓氷製糸の式典会場で伊勢神宮の神宮少宮司以下40名の参加のもと、第63回神宮式年遷宮御装束神宝御料「生糸繰糸始式」が斎行されました。



▶御料繭「小石丸」を出荷する前原さん



中央支所の スポーツ吹矢体験会

J A 前橋市中央支所は8月26日、同市富田町の本所で、J A 荒砥支所年金友の会会員を対象に、スポーツウエルネス吹矢体験講習会を開催しました。



▲「吹矢式呼吸法」により心身の健康効果が期待できます

当日は、日本スポーツウエルネス吹矢協会前橋支部の森良弘さんが講師を務め、参加者に吹矢の魅力や競技の基本動作、ルールなどについて丁寧に解説。参加者は互いに得点をつけ合いながら和やかな雰囲気の中で競技を楽しみました。

幼稚園児が案山子立て 地域ぐるみで稲を見守る

前橋市立おおご幼稚園は9月8日、稲穂が出始めた田んぼの畦に手作りの案山子を立てました。

田んぼは、6月下旬に大胡支所と東部営農センター職員、大胡農業青年会員と地元の小学生たちが田植えを行った約25[㍓]の水田。園児たちは、手作りの案山子に「ぼぼちゃん」と可愛らしい名前を付け、稲の順調な生育と豊作への願いを込めました。



▲田んぼに案山子を立てたおおご幼稚園の園児

なお、案山子「ぼぼちゃん」は、稲刈りの始まる10月下旬まで田んぼを見張り、水田の管理は大胡農業青年会とJ A が努めます。

地元中学生の 職場体験学習

J A 前橋市は9月3日～5日、食や農業に関心を持つ市立木瀬中学校と市立桂萱中学校の2年生を対象とした職場体験学習を実施しました。

J A の活動内容を次世代へ広く周知するとともに、中学生生活において望ましい「職業観」や「勤労観」を培う体験となるよう、職員一丸となつて取り組みました。

体験学習では、桂萱中学校の生徒が堀之下町の内山農園圃場でネギの収穫作業を体験。生徒たちは農家の方から収穫方法を教わりながら、一生懸命に作業に取り組みました。



▲ネギの収穫を体験する生徒

また、産直ゆあい館では、商品の品出しや陳列、窓拭きなどの環境美化作業を協力して行ったほか、ゆあい館利用者への声掛けなど接客



▲商品の袋詰めと品出しを行う生徒

の基本についても学びました。きゅうり・なす選果場では、施設内の機械や作業を見学。実際に収穫された野菜の荷受から製品づくりの流れについても学習し、農産物が消費者のもとへ届くまでの過程を体験しました。



▲選果場にて丁寧にナスの袋詰めを行いました



JA前橋市女性組織協議会 ボウリング大会

JA前橋市女性組織協議会は8月23日、前橋エメラルドボウルでボウリング大会を開催しました。

大会に先立ち久保まさ江会長は「楽しく体を動かして健康の増進や、仲間同士の親睦の場として、ケガのないよう大いに楽しみましょう」と挨拶し、細野ゆう子副会長の始球式でスタートしました。



▶表彰式の挨拶を行う久保会長

大会には、15支部86人の部員が参加し、ピンを倒すたびに歓声が上がリ、大いに盛り上がりしました。

なお、大会の結果は次の通りです。

▽団体戦

第1位…南部チーム

第2位…前橋チーム

第3位…粕川チーム

▽個人戦

※(一)内は女性部名 敬称略

第1位…深澤孝子(粕川)

第2位…坂井ます江(南部)

第3位…狩野洋子(富士見)



▲団体戦で優勝した南部チームのみなさん



▲女性部員同士交流を深めました

女性協では今後10月14日に那須高原へのハイキングを予定しています。

女性大学第4期生の 陶芸講習会

JA前橋市は8月29日、アグリサポートセンターで、JA前橋市女性大学第4期生を対象とした陶芸講習会を開催しました。

当日は、河原浜町で登坂陶芸教室を営む登坂和嗣さんを講師に招き、「タタラ作り」という技法で直径26センチほどの丸皿作りに挑戦。参加者たちは登坂さんの丁寧な指導のもと、熱心に作業に取り組み、楽しみながら作品を作り上げました。

成形した皿は、乾燥させた後、素焼きし、紺色や草色に仕上がる釉薬をかけ、本焼きして完成となります。



▲陶芸品作りの指導をうける女性大学生⑤

JAは、今後も女性たちが興味を持つテーマを取り上げた講習会を定期的に開催し、地域女性のより豊かな生活づくりを支援します。

～組合員皆様へ重要なお知らせ～

組合員資格変動の届出について(お願い)

JA前橋市

日頃は、JA事業に多大なご理解とご協力を賜りお礼申し上げます。

さて、みなさまの組合員資格につきましては、変動が生じた場合、定款の定めるところにより速やかに届出いただくこととなっております。

以下のような変動があった場合には、お手数ですが、ご加入の担当支所にお知らせくださいますようお願い申し上げます。

ご理解・ご協力のほど重ねてお願い申し上げます。

主な変動理由

- ① 組合員が死亡した場合
- ② 当JAに届け出ている基本情報(氏名、住所、電話番号、決済口座等)が変更になる場合
- ③ 職業として新たに農業に就農した場合、もしくは離農した場合
(※組合員資格変動届)

左記のほか、当JAに届け出た情報に変動がありましたら、ご加入の支所の窓口までご相談ください

毎月8の付く日は お米の日！

3kg以上購入で
鉢花をプレゼント！

お問い合わせ先

ＪＡ前橋市 産直ゆうあい館

住所 前橋市富田町2400-1 電話 027-261-5811



ヘルプライン（内部通報）窓口について

当組合の法令違反等の不正行為の未然防止、早期発見及び是正を図り組合のコンプライアンスに基づく経営の強化に資することを目的に、当組合の全ての関係者各位に向けた「ヘルプライン窓口」を設置してあります。当組合の業務運営におけるコンプライアンスに関する事項にてお気づきの点がありましたら、下記連絡先まで、一報下さいますようお願いいたします。

ヘルプライン(内部通報)の概要

ヘルプライン (内部通報) 制度	ＪＡ役職員が業務に関して、倫理や法令等に抵触する可能性がある場合に組合員・利用者がＪＡ所定の窓口で相談または通報できる制度です。
相談・通報窓口	ＪＡ前橋市 コンプライアンスオフィサー（リスク管理室長） 〒379-2161 前橋市富田町2400-1 TEL 027-261-3000 FAX 027-212-2570 Eメール help-line@maebashi.jagunma.net
通報者保護他	・匿名による相談/通報も可能です。 ・相談者本人の利害が害されないよう、ＪＡとして十分配慮いたします。 ・ＪＡとの取引にかかる苦情等は、取引した部署にてお受けいたします。 ・提供された情報が役員の行為に関するものについては、原則として、その情報を監事に提供させていただきます。

ちょっと待って! STOP 詐欺の可能性がります

フィッシング詐欺やキャッシュカード詐欺、還付金詐欺など、特殊詐欺は年々多様化しています。
警察や役所などから、不安を煽る電話やメールが来いませんか?
すぐに行動に移すのではなく、まず詐欺を疑いましょう。

キャッシュカード詐欺

あなたの口座が
不正利用されています。
カードの確認が必要です!



フィッシング詐欺

名前:○○○○○
暗証番号:XXXXXXXX

HP情報
入力



その他の手口

あなたの口座が犯罪に
利用され、あなたに対し
被害届が出ています。
逮捕されないために、
指定する口座に
振り込みをしてください。

保険料の還付金が
あります。手続きの
ため、指定する
口座に振り込みを
してください。



✓ 特殊詐欺チェックリスト

- ☐ 暗証番号を教えてください
- ☐ お金が戻ってきます
- ☐ カードの交換が必要です
- ☐ カード・口座が悪用されています
- ☐ 警察がご自宅に伺います
- ☐ このままだと逮捕される可能性があります
- ☐ このやり取りを口外すると罪に問われます
- ☐ 期日までに対応を行わないと取引が制限されます
- ☐ 指示に従ってATMの操作をしてください



1つでも当てはまったら詐欺です!
すぐに電話を切って家族や身近な人に相談しましょう。

⚠ 詐欺にだまされないためには

- 警察・公的機関を名乗る者から突然電話が来ても、一度電話を切り、申し出内容が正しいか確認するため電話をかけ直しましょう。その際、電話番号は自分で調べ直しましょう。
- 少しでも様子がおかしいと感じたら、家族や友人など身近な人に相談しましょう。事前に家族間で話し合っておくのも効果的です。
- 詐欺の手段は電話が8割近くを占めています。常に留守番電話機能を設定しておき、通話の録音や防犯機能が付いた迷惑電話防止機器を使いましょう。
- 警察・検察は個人のスマートフォンに突然ビデオ電話をすることはなく、国際電話で連絡することもあります。不審な点がないか、落ち着いて確認しましょう。

〓 JAバンクは被害拡大防止に向けて、店舗での「声掛けの徹底」に取り組んでいます。〓

ATM付近で携帯電話を利用している方や窓口で多額の現金を引き出そうとしている方には、現金のご利用目的などをお伺いすることがございます。
何卒ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。





▶開催日時
11月11日(火)
14時00分より

▶開催場所
JA前橋市
アグリサポートセンター
2階 会議室
住所：前橋市江木町770-1



アスパラガス 新規導入説明会

ハウス栽培と露地採りつきり栽培を説明いたします

アスパラガス栽培のメリットはたくさん



軽量作物

アスパラガスは軽量の作物
の為、高齢の方でも収穫
や出荷調整が行いやすい
作物です。



高単価

国内産のアスパラガスは
需要が高く、他の作物と
比べても市場相場が高
い作物です。



経費安

原材料費が値上がりし、
経費高な環境の中、生
産費・出荷経費が比較
的安い作物です。

**参加希望者は11月4日(火)までに
下記の問合せ先までご連絡をお願いします**

お問合せお申込み先

各営農センター
西部営農センター 南部営農センター 北部営農センター 東部営農センター 中部営農センター
☎027-226-1616 ☎027-265-0221 ☎027-288-2522 ☎027-283-2502 ☎027-212-7755

主 催
JA前橋市 営農部 生産振興課
☎027-261-3832

にがうり新規導入説明会 開催

にがうりの栽培してみませんか？

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
栽培体系		●	—	●	▲							
		(土壌診断～施肥)			定植		収穫					

《特徴》

〈栽培期間〉

定植2ヶ月前に土壌分析を行い、栽培に適した肥料の投量を分析します。5月上・中旬頃に定植し、7月上旬から9月末頃まで収穫することができます。

〈栽培面積〉

一人で管理が可能な本数は約96本で、面積は10aとなります。

〈圃場の条件〉

排水性がよく、水管理が行き届く農地での栽培が好ましいです。

〈労働生産性〉

にがうりのメリットとして、定植後初期の管理は必要ですが、ほぼ放任での栽培が可能です。また、にがうり品種『百成レイシ雅』では、日陰でも色抜けしない濃緑色の果実なので、あまり枝摘み・葉かきをせず、茂るように栽培するため、作業の省力化ができます。

さらに、にがうりは出荷時の袋詰め作業がなく、そのまま箱詰めをするため、新規の方でも時間をかけずに出荷・調整ができます。

〈こんな支援を行っています〉

当JAでは、にがうりの新規栽培者や栽培経験の浅い方を対象に各種研修会を開催します。また、JAでは栽培指導や資材購入などの支援を行っています。

経費の目安（10aあたり）

経 費	金 額	備 考
種 苗 費	約3万円	購入苗96本
肥 料 費	約7～8万円	元肥、土壌改良剤等
農 具 費	約3万円	収穫台車、コンテナ、ネット等
農 薬 費	約4～5万円	殺虫剤、殺菌剤
支 柱	約40万円	約180セット（初年度）
防 風 ネ ッ ト	約2万円	約200m
諸 材 料 費	約15万円	マルチ、テープナー、DB等

収入の目安（10aあたり）

	1年目	2年目
目標収量	4,000kg	5,000kg
収 入	1,160千円	1450千円
単 価	290円/kg	290円/kg
経 費	760千円	360千円
所 得	400千円	1,090千円
労働時間	320時間	355時間

にがうり栽培に挑戦してみたい方を対象に「にがうり新規導入説明会」を開催します。参加を希望する方は、**11月18日（火）までに**下記のお問い合わせ先へご連絡いただき、お申込みをお願いします。



にがうり新規導入説明会

【開催日時】

令和7年11月25日（火） 14：00～

【開催場所】

JA前橋市アグリサポートセンター2階 会議室
(前橋市江木町770-1)

【お申込み・お問い合わせ先】

営農部 生産振興課 ☎027-261-3832

又は各営農センターへ

積水ハウス カタログプレゼント



【お申込先】 お電話かFAXにてお申込下さい。

JA前橋市 生活部 資産相談課（営業時間：8：30～17：00 定休日：土日祝）

電話番号：027-261-3006 FAX：027-261-2500

FAXの場合、☑印の上ご返送ください。

- ☐ 積水ハウス実例カタログ（無料）
☐ 積水ハウス 平屋カタログ（無料）
☐ 住まいのプランニング・お見積り希望（無料）

フリガナ		年齢
お名前		
ご住所 〒	お電話	

さらにWEB予約での展示場来場にて

Amazonギフトカード3,000円分贈呈！

この機会に積水ハウスの展示場
ぜひともご覧ください！

2026年1月31日までのご予約対象

※前橋みなみ展示場が対象です。

ご予約は下の二次元バーコードから
24時間受け付けております！
※火水は定休日のため翌営業日の対応となります。



主催

JA前橋市

群馬県前橋市富田町2400-1

電話番号：027-261-3006 FAX：027-261-2500

協賛



積水ハウス株式会社 群馬支店

群馬県前橋市鶴光路町765

（シャーウッド前橋みなみ展示場）

電話番号：027-287-4071

営農情報

群馬県中部農業事務所

令和8年度麦の生産に向けて

令和7年度麦の生育概況

令和7年度麦の生育概況について振り返ります。は種作業は、11月10日頃から開始され、12月下旬まで続きました。12月以降には種された場合は、降雨がほとんどなく、出芽に時間を要し、11月下旬までには種した場所との生育差が広がりました。その後乾燥傾向で経過し、茎立期は平年よりも2〜3日遅れ、出穂期は平年並〜2日遅れました。成熟期は、二条大麦では平年並〜2日遅れ、小麦及び六条大麦では平年並となりました。品質評価におけるランク区分は、「さとのそら」及び「ゆめかおり」でAランク、「つるびかり」でBランクとなりました。

高品質麦生産に向けて

【雑草防除】

近年、前橋市内の麦栽培現場では、雑草の発生が目立っています。特に、カラスミギ（写真1）、スズメノテッポウ（写真2）、ネズミムギ（写真3）等のイネ科雑草や、カラスノエンドウ（写真4）やヤエムグラ（写真5）、ヤグルマギク等の発生が増加傾向にあります。このような雑草の過繁茂は、収量や品質（タンパク値）の低下を引き起こします。また、雑草種子が収穫物に混入することで等級の低下につながります。こうした雑草害を防止するため、麦栽培で使用される除草剤の上手な使い方について紹介します。

○土壌処理剤

土壌処理剤は、栽培初期に発生する雑草の防除を目的として使用します。稲わらや土塊が多い現場では、土壌処理剤の効果を十分に発揮することができません。そのため、碎土や整地は丁寧に行いましょう。土が乾いている場合は、希釈水量を多めにして散布します。ただし、農薬の登録範囲内で行うことに注意してください。

は種深度を浅くしすぎると薬害を受けやすくなるため、深さは2〜3cmを目安としましょう。

○茎葉処理剤

茎葉処理剤は、雑草の種類によって、得意不得意があります。ほ場に生えている雑草の種類をよく確認して適切な除草剤を選択しましょう。

また、茎葉処理剤は散布時期が重要です。ほとんどの茎葉処理剤は、生育が進んだ雑草には効果が劣るため、散布適期を逸しないように注意しましょう。

○イネ科強害雑草対策

前述のとおり、前橋市では、イネ科雑草のネズミムギやカラスミギが特に問題となっています。イネ科雑草を選択的に枯らし、かつ麦類に登録のある薬剤は限られています。そのため次のような体系防除による対策が必要となります。

- ① 稲収穫後、早い段階で耕耘を行い、土中の雑草の発生を促します。
- ② 麦は種直前に非選択性茎葉処理剤を散布します。
- ③ できるだけ浅く耕耘して、麦を種します。
- ④ 麦は種後に速やかに土壌処理剤を散布します。

雑草種子の密度が高いと、体系防除を行っても処理しきれないことがあります。その場合は、休耕や田畑転換等を検討しましょう。



写真1 カラスミギ



写真2 スズメノテッポウ

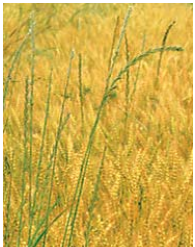


写真3 ネズミムギ

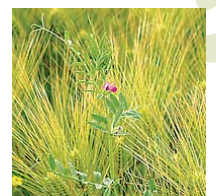


写真4 カラスノエンドウ



写真5 ヤエムグラ

【その他の基本技術】

○赤かび病防除

赤かび病菌は糸状菌であり、カビ毒であるデオキシニバレノール（DON）を産出します。DONが生産物に混入すると規格外になります。赤かび病は、出穂期前後の高温及び降雨により発生が助長されます。薬剤の適期散布により発生防止に努めましょう（表1）。また、1回目の薬剤散布後に気温が高く降雨が続く場合は、7〜10日後に2回目の薬剤散布を行います。



写真6 赤かび病

表1 赤かび病防除適期

小麦	出穂期 7〜10日後
二条大麦	出穂期 12〜14日後
六条大麦	出穂期 3〜5日後

※農薬の適正使用

農薬使用時はラベルをよく読み、正しく使用しましょう。散布時はドリフトに十分注意しましょう。

（中部農業事務所 農畜産課

農畜産係 堀込隼太）



寒露・霜降

■ 寒露 (かんろ) 2025年は10月8日

二十四節気の寒露は、冷えた露が降りる頃で、朝晩の空気が一層涼しく感じられるようになります。

寒露が過ぎた頃、伊勢神宮では10月15日から17日にかけて、日本の稲作文化に深く関わりのある神嘗祭（かんめさい）が行われます。神嘗祭では、天皇陛下がその年に最初に収穫なさった新穀の御初穂や、各地の農家から寄せられた稲束が奉獻されます。秋の実りに感謝し五穀豊穡を祈願する大切な行事といつていいでしょう。

■ 霜降 (そうこう) 2025年は10月23日

二十四節気の霜降は、字の通り初霜が降り始める頃です。

昔は今より冷え込みが厳しかったため、この霜降が農事の目安でした。寒さに弱い農作物の収穫を終え、霜よけの対策をし、一方で、霜に当たること

で甘味を増す農作物の準備や、漬物などの仕込みを始めます。日本酒の仕込みが始まるのもこの頃ですね。秋晴れが多い季節とはいえ、時雨が降るのもこの時期。一時的に降る軽い通り雨のことを時雨と呼びます。初霜と同じく晩秋から初冬にかけての季語

気候変動などに伴い、新米の時期が年々早まっていますが、本来は神嘗祭の後に新米をいただくといわれています。



でもあります。

寒さとともに景色が紅葉（こうよう）に彩られるのももうすぐです。



和文文化講師 ● 滝井ひかる

組合員の皆様へ

◆JA前橋市葬祭センター総合受付◆

☎フリーダイヤル

0120-71-0790

365日 (24時間受付対応)

(最寄りの各支所でも承ります。)

JAのペット火葬 ～移動火葬車によるペットの火葬サービス～

長い間一緒に過ごしてきた、大切な家族。もしもお別れの時が来てしまったらすぐに離れてしまうのはあまりにも切ないから、真心込めてお別れのお手伝いを致します。

ご火葬プランのご紹介 ご家族様のご要望やご都合に合わせた3つの火葬プランを用意しています

合同火葬 (※ご返骨不可)

専用車にてご自宅またはご指定の場所にお迎えに参ります。その後、合同火葬を行います。合同火葬後のご遺骨は、提携寺院の納骨堂の合祀墓でご供養いたします。

14,850円～(税込)

個別火葬 (スタッフによるお骨上げ)

専用車にてご自宅またはご指定の場所にお伺い致します。専用車にて個別に火葬を行い、スタッフが骨壺のお骨をお納めし、後日、ご自宅へご返骨いたします。

18,150円～(税込)

立会い個別火葬 (ご家族様によるお骨上げ)

専用車にてご自宅またはご指定の場所にお伺い致します。専用車にて個別に火葬を行い、ご家族にお骨上げをしていただきます。骨壺のお骨をおさめ、ご返骨いたします。

20,350円～(税込)

ペット火葬専用ダイヤル ※夜間(18時～8時)はペット火葬業者で対応します。

☎ **0120-09-1082** ※24時間365日対応致します。

野菜の荷受休業日

☐ ←の日が出荷休みにになります。

10月

の休業日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月

の休業日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

みんなのJA

8月末事業実績



総組合員数	24,400人 (うち正組合員 9,937人)
貯金総額	2,435億8,708万円
貸出金総額	740億2,400万円
長期共済保有額	4,429億0,865万円
農畜産物販売総額	81億7,191万円
購買品供給額	29億8,962万円

○前橋産切りバラの展示・販売

敷島公園門倉テクノばら園で「秋のバラフェスタ」を開催します。開催期間中、前橋産の切りバラの展示・販売を開催。

前橋のバラは、農林水産大臣賞を受賞するなど日本屈指の高い品質を誇ります。前橋ばら部会が栽培した、色や香りの異なる多彩な品種を70種類以上展示します。また、同部会員が心を込めて育てた高品質な切りバラを販売します。その他にも、秋のバラフェスタ開催期間中、様々なイベントをばら園内で開催しております。

日時〓秋のバラフェスタ10月18日(土)～11月2日(日)

法務・税務相談日

●法務相談

2025年11月 7日(金)・21日(金)

2025年12月 5日(金)・19日(金)

●税務相談

2025年11月13日(木)・27日(木)

2025年12月11日(木)・25日(木)

…… 各午後2時から本所金融部窓口にて ……

※希望される方は、
前々日までにJA各支所へご連絡ください。

8月の理事会から

◆審議事項

①JA前橋市不祥事未然防止策

②固定資産の処分(売却)

③令和7年度9月借入れ公営企業債(銀行等引受資金)に係る入札及び落札に伴う融資実行

◆報告事項

①各事業の概況と報告

8月25日…本所多目的ホール

○「まえばしFARM TALK MARKET」を開催します

道の駅まえばし赤城(田口町)で、



(前橋産切りバラの販売は10月18日(土)のみ。午前10時～※売り切れ次第終了)
場所〓敷島公園門倉テクノばら園(敷島町262)
※詳細については本市ホームページをご覧ください。
問い合わせ〓前橋市役所農政課
027-898-6707



まえばし FARM TALK MARKET

2025.10.12日 会場 道の駅まえばし赤城(前橋市田口町36) 屋外広場及びステージ

13:30～15:30(予定)

トークイベント

若手農業者 × 樺澤まどかさん

MC 群馬県住みずき人 アンカンミンカン富所哲平さん

トークイベント後にはマルシェも開催!!

※イベントは、天候等により予告なく中止となる場合があります。ご了承ください。
※マルシェはトークイベント後に開催。売り切れ次第終了となります。

問い合わせ: 前橋市農業委員会事務局 Tel. 027-898-6733

ゲストに樺澤まどかさん(前橋市出身。実家はオクラ農家。元吉本興業(株)マネージャーで、現在は動画クリエイターやアパレルブランドのディレクター等マルチに活躍中。)、MCに富所哲平さん(アンカンミンカン)を迎え、若手農業者とのトークイベントを開催。そのあとはマルシェも実施。マルシェは売り切れ次第終了となります。是非お越しください。イベントの詳細は本市ホームページをご確認ください。なお、イベントは、天候等により予告なく中止となる場合があります。ご了承ください。
日時〓10月12日(日) 13時30分～15時30分(予定)
場所〓道の駅まえばし赤城(田口町36) 屋外広場及びステージ
問い合わせ〓前橋市農業委員会事務局
027-898-6733



「食」と「農」にふれあうイベント盛りだくさん!

前橋市

農業まつり

令和7年

11月8日

土

場所

JA前橋市本所・ちびっこ広場

(前橋市富田町2400-1)

9:00から14:00まで

雨天決行

たくさん袋に入るかな!?

第1回 玉ねぎ 9:00~

第2回 じゃがいも 12:00~

※無くなりしだい終了とさせていただきます。

青果物せり

新鮮な青果物が
せいぞろい!



11:00~

親子きゅうり収穫体験&
きゅうり・ナス
選果場見学ツアー

選果場を室内
体験イベント!



10:00~

事前予約制

※子ども30名定員
詳しくはHPをご覧ください。

大抽選会

なにが当たるかお楽しみ!

各ブースで買い物をして
抽選券をゲットしよう!



楽しいイベント盛りだくさん!

農畜産物・加工品販売

前橋産の新鮮野菜
農畜産物加工品の販売
赤城の恵ブランド認証品の販売

手作りバター体験

カンタンに美味しいバターが
手作りできるよ!
(無くなり次第終了)

ホールクロップサイレージ
お絵描き大会

農家さんへ応援
メッセージを書こう!

乳しぼり
体験コーナー

酪農のお仕事体験!
(牛の模型を使った擬似体験です)

キッチンカーコーナー

前橋産農畜産物使用の
農業まつり限定メニューを
特別販売!!

はたらくるま
大集合

バトカー・白バイ・
トラクターがやってくる!!

ハ木節
実演

本場のハ木節を
お楽しみください!

お子様から大人の方まで
楽しめる様々なイベントを
ご用意しております。
ぜひ、ご来場ください。



HPIは、こちらから!

JA前橋市ホームページも
ご覧ください。

会場案内図



当日は駐車場の混雑が予想されますので、乗り合わせにてお越しください。

前橋市農業まつり実行委員会

JA前橋市営農部 TEL.027-261-3832

平日 8:30~17:20 (電話対応時間)

※特定家畜伝染病の発生状況によりイベント内容が変更又は開催中止となる場合がございますので予めご了承願います。

※混雑を緩和するため、一部入場制限を行う場合がありますので予めご了承願います。

※各ブースとも数に限りがありますので予めご了承願います。

※イベント内容は予告なく変更となる場合がございます。

みなさまのご来場をお待ちしております!

あぐりーとーく 2025・10月号 16